

※：2005年4月改訂(第4版 薬事法改正に伴う改訂)
※：2003年3月改訂

貯 法	室温・しゃ光保存, 吸湿注意
使用期限	外装に記載

Pancal

パントテン酸製剤

複合パンカル顆粒

日本標準商品分類番号	
8 7 3 1 7 9	
承認番号	21400AMZ00144000
薬価収載	2002年7月
販売開始	2002年9月
再評価結果	1985年7月

〔組 成・性 状〕*

1g中含量		剤形	色
日本薬局方	パントテン酸カルシウム	100mg	顆粒 黄色
日本薬局方	リボフラビン	3mg	
日本薬局方	塩酸ピリドキシン	30mg	
日本薬局方	ニコチン酸アミド	15mg	

添加物として、パレイショデンプン、クエン酸、メチルセルロース、サッカリンナトリウム、黄色5号を含有する。

〔効 能・効 果〕

下記疾患のうち、本剤に含まれるビタミン類の欠乏または代謝障害が関与すると推定される場合

湿疹・皮膚炎群

なお、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

〔用 法・用 量〕

通常成人1日0.5～2.0gを1～3回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

〔臨 床 成 績〕

湿疹・皮膚炎患者249例を対象としたクロスオーバー法による二重盲検比較試験において、パントテン酸カルシウム単味剤に比較して有用性が優る傾向が認められている¹⁾。

〔薬 効 薬 理〕

パントテン酸はCoAの構成成分であり、CoAは生体内でアセチル化をはじめ、ステロイド、脂肪酸、ポルフィリン等種々の生体必須物質の合成に関与するとともに、脂肪、蛋白質、炭水化物の代謝にも関与している。

必須脂肪酸欠乏動物(ラット)における皮膚症状の発生が、必須脂肪酸からアラキドン酸を経て誘導されるプロスタグランジン(PGE₂)の欠乏によると推測される知見が報告されている²⁾。

生体内で必須脂肪酸(リノール酸)からアラキドン酸が合成される経路において、パントテン酸、リボフラビン、ニコチン酸アミドは補酵素として関与し、また、ピリドキシンは不飽和酵素の生成に関与していると推定されており、いずれかが欠乏した場合には、アラキドン酸およびPGE₂の合成が阻害されると考えられている³⁾。

〔包 装〕

複合パンカル顆粒 100g 500g 1kg
(H.S.) 1g/1.2kg

〔使用上の注意〕

1. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
レボドパ	レボドパの作用を減弱することがある。	本剤中の塩酸ピリドキシンが、末梢でレボドパの脱炭酸化を促進し、レボドパの脳内作用部位への到達量を減少させると考えられている。

2. 副作用(再審査対象外)

消化器(0.1%未満)

大量投与により、腹痛、下痢等があらわれることがある。

3. 臨床検査結果に及ぼす影響

尿を黄変させ、臨床検査値に影響を与えることがある。

〔本剤の成分であるビタミンB₂(リボフラビン)による。〕

〔主 要 文 献〕

- 1) 渡辺ら：臨床皮膚科 **35** (8) 769 (1981)
- 2) 竹久ら：ビタミン **51** (7) 261 (1977)
- 3) 木村ら：ビタミン **54** (1) 28 (1980)



〔文献請求先・製品情報お問い合わせ先〕
第一製薬株式会社 製品情報センター

〒103-8541 東京都中央区日本橋小網町1番8号
本社別館
電 話：0120-189-861

※※ 製造販売元



第一製薬株式会社 東京都中央区日本橋三丁目14番10号